

QAN便り

第13回QAN定時総会開催



第13回QAN定時総会が、5月19日(土)にレソラホールで行われました。QANは理事を中心にH29年度の活動として、QANアワード2018の企画・準備、QAN公式ウェブサイトの開設、名簿管理システムQlothの改修・利用促進、碧樹会(九州アジア経営塾の同窓会組織)との合同イベントの開催、東京支部での交流活動、QAN法人化の検討を行ったことを報告しました。そして、これからQANが持続的な組織として活動を行うために年会費制への移行、事務局の設置、そのための法人格の取得とそれに伴う任意団体の解散について総会に諮りました。望ましい姿について質疑応答が盛り上がり、さらに深化させる必要があると判断し、本会では決議投票を延期することとなりました。

また秋に臨時総会を行い、法人化についての結論を出しますので、ご意見ご参加お待ちしております。

QAN副会長 川田 賢一郎(9期生)

第2回QANアワード開催



2018年5月19日、天神レソラホールにて第2回QANアワードが開催されました。

QANアワードとは、QBSで得た学び・ネットワークを駆使したQAN会員の活躍を周知し、QBSブランドの向上に貢献することを目的に創設された独自の表彰制度です。

今回は、事前のエントリー募集と審査会で選ばれた大井忠賢氏(12期生)、岡祐輔氏(12期生)の2名に、取り組みを発表していただきました。

大井氏からは、『「田舎を芯から元気にする」地方創生カンパニー・株式会社BOOKのチャレンジ』と題して、田川市における完全自走による地方創生の取り組みを、岡氏からは「経営学を活用した糸島市の政策立案及び実践～糸島食材のマーケティングモデル～」と題して、経営学の分析手法を活用し、地場産品のブランド化を図る取り組みをご紹介いただきました。両名のプレゼンテーション後、事前のWEB投票及び当日投票により、最優秀賞には岡氏が選ばれました。

選考段階でも起業や第二創業、組織内での新規事業立ち上げなど、多様で創造的な取り組みが数多く寄せられ、あらためてQAN会員のポテンシャルの高さを感じる機会となりました。

QANアワードは今後も継続的に開催し、QBSの学びをビジネスに生かして活躍している方々を紹介し、QBSブランド価値の向上に貢献していきます。

鶴丸 貴信(6期生)

QBS生の伊都キャンパスでの活動

昨年10月に伊都キャンパスで開催された九大祭への飲食店の出店(QSHOP)は、大切な経験になりました。QREC(九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター)主催の起業プログラムの一環で、予選を通過した6チームが、各店ごとのROE、EPS、コーポレートガバナンスを競い合って勝敗を決定するというものです。各メンバーやベンチャーキャピタルの出資と銀行融資による資金調達を行い、事業計画書・報告書の提出、株主総会の開催、大手監査法人の監査も受けるという本格的なイベントです。2日間の九大祭は天候にも恵まれ、私の参加した、ネパール出身のクラスメイトをCEOとする料理店「Himalayan & Spices」はQBSとして初優勝することができました。10代の学部生に混ざっての出店とあって、アラフォー社会人チームの私達に「業者の方ですか?」と親御さんから声を掛けられたのは笑い話です。賞金の多くを、税金と出資を受けたベンチャーキャピタルに持っていかれたことで、出資の意味を、身を以って知ることもできました。



藤吉 由貴(15期生)

修了生・在校生紹介



村上 さおりさん(8期生)

所属▶日本郵便株式会社 福岡中央郵便局

QBSを修了して6年が過ぎましたが、時が経つほど学びの意義を深くかみしめています。

日々の閉塞感を打ち破りたく入学すると、そこには全く知らなかった世界がありました。多様性という言葉がびつりの同期や先輩後輩、先生方。魅力的なイベントも多く、在学した2年間の経験で、人生は大きく変わりました。もちろん良い方です。

お客様に適切なサービスや資産運用の提案をするのが私の仕事ですが、学びを生かし、社内で資産運用営業優待を受賞できました。またNISAやiDeCoという国を挙げての施策もあり、プロジェクト演習の論文で提案したことが、少しづつですが広がっていることをうれしく思っています。個人的にも、長期投資や正しい投資行動を学び広めるための様々な活動に参加していますが、QBSでの経験あつてのつながりも多々あります。

日々前向きに、謙虚かつ情熱的に学び続け、QBSで得たことを広く還元できるよう、新たにチャレンジしていきたいと思っております。



芝原 雄大さん(15期生)

所属▶九州旅客鉄道株式会社

私は動める会社の経営企画部へ異動し、会社経営のいろはを何一つ分かっていないことを痛感したことがきっかけでQBSへの入学を決意しました。経営・事業戦略の立て方、組織の動かし方を各講義はもちろんのこと、様々なフィールドで活躍する仲間の考え方を吸収しながら学び、実践で活かすことを意識しながら、日々の学習に取り組んでいます。

1年を終えて感じることは、QBSでは自分の意識次第で期待以上のものを得ることができるということです。学びをタイムリーに実践に活かせるのみならず、講義や課題、グループワークを通して自分自身や属する組織に置き換えて考え、新たな課題に気づくことができるほか、仲間と学ぶことで新たな視点に気づき、自分自身の視野を広げることができることを実感しています。

このような環境を与えてくださるQBSの先生方や共に学ぶ仲間、支えてくれる家族に感謝しながら、今後も目標に向かって有意義に楽しく学び続けてきたいと思っております。

編集発行/九州大学ビジネス・スクール
担当/QBS支援室
住所/〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
電話/092-642-4278
メールアドレス/bs@econ.kyushu-u.ac.jp

九州大学ビジネス・スクールに関するお問い合わせ
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1
九州大学貝塚地区事務部教務課学生第四係
TEL.092-642-4167
ホームページ http://qbs.kyushu-u.ac.jp/
facebook.com/QBS.MBA



九州大学ビジネス・スクール
Kyushu University Business School

QBS15周年記念講演会を開催

2003年4月に、QBSが設立されてから今年で15年になり、現在までにMBAを取得した修了生も598名になります。

さる1月13日(土)の午後には、アクロス福岡国際会議場において、「価値創造：ビジネス・スクールは地域にどのような貢献ができるのか」というテーマで、15周年記念講演会を開催いたしました。

第一部では、九州経済連合会 麻生泰会長より基調講演をいただき、MBAに期待されることを熱く語っていただくと共に、QBSと修了生に、温かい応援のエールをいただきました。

第二部では、QBSのQBSの生みの親ともいえる九州大学・北九州市立大学名誉教授の矢田俊文先生、産業界との連携にご尽力いただいている地域企業連合会 九州連携機構 小早川明徳会長、QBSの同窓会組織のQANの寺松一寿会長とQBS専攻長の村藤功教授をパネリストに迎え、星野裕志教授のファシリテーションで、QBSのすべきこと、できていないことなどについて、ディスカッションを行いました。多くの課題が浮き彫りにされ、やはり節目の年にこのような総括を行うことの重要性を感じる一日となりました。

星野 裕志(国際経営、国際ロジスティクス)



QBS大学説明会のご案内

九州大学ビジネス・スクール(QBS)では2019年4月入学希望者のための大学説明会/入試説明会を下記の通り開催いたします。各会場ではQBSの概要説明の他、教員による「模擬講義」や「学生の声を聞く」と題して、社会人学生である修了生・在校生の仕事と学業の両立、QBSに入学することのメリット等の体験談を聞くことの出来るプログラムをご準備しております。

ぜひこの機会にQBSでの学びに触れてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
※後学期の箱崎キャンパスから伊都キャンパスへの移転に伴い、今年度のオープンキャンパスは「入試説明会」としてJR博多シティ会議室にて行います。

■大学説明会(福岡)

日時:8月8日(水)19:00~21:15
場所:JR博多シティ10階 大会議室
模擬講義:星野 裕志 教授「国際経営」

■大学説明会(熊本)

日時:8月20日(月)19:00~21:00
場所:くまもと県民交流館パレア 会議室7
模擬講義:平野 琢 講師「企業の社会的責任(CSR)について」

■入試説明会(福岡)

日時:9月13日(木)19:00~21:05
場所:JR博多シティ10階 大会議室
模擬講義:高田 仁 教授「ビジネスモデル」

参加ご希望の方は、参加希望説明会名・氏名(ふりがな)、連絡先(自宅または勤務先住所)、電話番号、メールアドレスを明記の上、ビジネス・スクール支援室宛にE-Mailまたはファックスにてお申し込みください。

九州大学ビジネス・スクール支援室
E-Mail:qbs@econ.kyushu-u.ac.jp
ファックス:092-642-4336



昨年の大学説明会の様子

九州大学ビジネス・スクール<MBA課程>
2019年4月入学生(17期生)

募集のお知らせ ~ 一般選抜 ~

出願期間/平成30年10月29日(月)~11月5日(月)
募集人員/45名
選抜方法/書類審査(第1次試験)・口頭試問ほか
第2次試験期日/平成30年12月1日(土)・2日(日)

■入学試験について詳しくはホームページをご覧ください■
ホームページ:http://qbs.kyushu-u.ac.jp/
◎ホームページからも募集要項のダウンロードができます◎

着任のご挨拶



Haswell Christopher Gareth 准教授 ● 「英語によるビジネス・コミュニケーション」

Ask yourself: why do you do what you do? The best business book I ever read was Simon Sinek's *Start with 'Why?'*, which investigates the roots of success. My course begins with this question: why do we use English as an international language? In my class, we investigate texts produced in English by major Japanese companies and learn how their corporate philosophy can be found in the words they use and the topics they focus on. You can discover a lot about what makes a company or a person successful from what they choose to say about themselves. Through the positive and confident use of English, QBS students learn how to incorporate the success of others into their own careers. It is a pleasure to be part of the QBS program and meet students from different backgrounds. My job is made easier by their energy and enthusiasm. An 8pm class can sometimes feel like a tough time to produce your best work but, by combining our energies, QBS students keep the lessons moving forward at a fast pace. Some of my teaching approaches are unorthodox; I literally want to change the way my students' brains work so they can be more competent and confident. If the members of my class feel positive about using English, I have done my job right.

<略歴>

During my career, I studied first at Nottingham Trent University (U.K.) (Law), then University of Technology, Sydney (Australia) (MA: English Language Teaching), and at the University of Sheffield (U.K.) (PhD: Sociolinguistics). I have worked in several institutions including Ritsumeikan APU, Fukuoka University, Seinan Gakuin University, and now in the Faculty of Languages and Cultures at Kyushu University. My research focuses on the internationalization of Japanese higher education. I am also involved in projects to create commercial apps for learning English grammar, and a project to develop translation software. I have presented my research at conferences in Japan, Korea, Hong Kong, The Philippines, Cambodia, Dubai, and Australia.



中本 龍市 准教授 ● 「組織マネジメント」

QBSで「組織マネジメント」を担当します、中本と申します。研究の専門領域は、組織論、比較組織論、組織間関係論、国際経営論で、分析対象は、医薬品産業、産業クラスター、知識集約型産業、自動車産業などです。

「組織マネジメント」は、必修科目で、かつ、組織、戦略、文化、人的資源、提携管理、イノベーション、といった様々な領域の経営現象にかかわる基盤となる科目です。こうした、たいへん重要な科目を、これから、社会人の皆様と一緒に作り上げることを大変楽しみにしております。それと同時に、私自身は、実務経験のない、アカデミア出身ですので、皆様にうまく貢献できるか、不安も感じています。ビジネス・スクールでは実務経験豊富な皆様の知識を引き出しながら、共同でクラスを作り上げていく過程が大事だと考えております。楽しく有意義なクラス運営のために、どうかご協力のほどよろしくお願いいたします。

<略歴>

京都大学経済学部卒業、同 大学院経済学研究科修士課程修了、同 博士課程・指導認定退学、博士(経済学)。独立行政法人日本学術振興会 特別研究員、公益財団法人医療科学研究所 研究員(Research Associate)、梶山女学園大学現代マネジメント学部、同大学院現代マネジメント学研究科を経て、現職。この間、日本大学経済学部(非常勤講師)、早稲田大学ビジネススクール(WBS、非常勤講師)、早稲田大学台湾研究所 招聘研究員、早稲田大学ビジネスファイナンス研究センター技術経営研究部会 招聘研究員、淡江大学亜州研究所(台湾)で訪問研究、ビジネスキャリア検定作問委員、日本ファルマライアンス協会(JPAA)調査分科会アドバイザーなど。



平野 琢 講師 ● 「企業倫理」、「経営リスク・マネジメント」

はじめまして。本年度から「経営リスクマネジメント」と「企業倫理」を担当することになりました平野琢です。

昨今の企業不祥事や産業事故の事例は、経営における適切な「リスクマネジメント」や「企業倫理」の実践が企業の持続的な成長に不可欠であることを物語っています。しかし、「リスクマネジメント」という概念は学際的、多義的に用いられており、その本質を捉えることはなかなか難しいところです。また、「経営リスクマネジメント」も「企業倫理」も学問としての歴史は浅く、未解明の領域がたくさん残されています。誤解を恐れずに言えば、学問と実務の両面において「リスクマネジメント」も「企業倫理」もフロンティアなのです。

QBSでは、経営学にかぎらず、哲学や工学、そして心理学などの学際的な理論の学びを行いたいと思います。更に理論を実務課題に引き付けることにより「リスクマネジメント」や「企業倫理」の本質に迫っていきます。QBSの受講生皆様にとって講義が、溢れるモデルや手法に振り回されない、本質を備えた「リスクマネジメント」や「企業倫理」を学ぶ一助となれたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

<略歴>

一橋大学商学研究科修士課程修了(修士:経営学)、東京工業大学イノベーションマネジメント研究科博士課程後期修了(博士:工学)。東京工業大学特別研究員、東京交通短期大学専任講師を経て2018年より現職。一般社団法人経営倫理実践研究センター講師を兼務。

第29回 ICABE学生海外交流プログラム

今春のICABEは、教員含め総勢17名、2018年3月2日～3月5日(3泊4日)の日程で中国(上海、杭州)を訪問しました。訪問先の浙江大学(ZJU)の教授と事務担当のサポートとQBS15期生の叶さんから滞在、帰国までの暖かいおもてなしや案内を受け、ツアー全体が大変充実したものになりました。

2日目は、Ali Baba Groupの本社を訪問し、社員による本社の案内、会社説明をうけました。本社は、Ali Babaデータセンター、Taobao「電子取引サイト」、Ali PayなどのR&D本拠地として大きく3部間に分かれています。その後、中国の伝統的な茶園に囲まれているレストランで昼食を取りながら、Ali Baba社員との交流会を行いました。この交流会を通して、Ali Babaの現状、今後の海外戦略、中国市場の動向や特長などへの理解が一層深まりました。杭州はIT企業が多く集積しており、街中に監視カメラが多く設置され、Ali PayやWeChat Payで決済できるシェアバイクなどのシェアリングエコノミーも浸透している先進的かつITの街のように感じました。

3日目はZJU(浙江大学ビジネススクール)学生や教員との交流が中心でした。相互の学生を5つのグループに分け、「キャッシュレス社会とその影響力」というテーマで交流を行いました。限られた時間の中で、チームそれぞれの視点の意見、キャッシュレス社会の課題やその改善策を発表していただきました。また、「なぜ、日本は中国や他先進国ほどキャッシュレスが普及していないのか」についても議論の中に様々な意見が出されました。

中国は経済成長やITの普及が進んでおり、人々もより利便性のある生活を追求していると感じました。しかし、経済格差がまだまだ残っており、キャッシュレスの普及で格差が広がらない社会を目指す必要があると感じました。

カandel・ナラヤン、陳 慧芸(15期生)



平成29年度 福北交流懇談会



2018年2月23日(金)、GRANADA SUITE 福岡で「平成29年度福北交流懇談会」が開催されました。福北交流懇談会は今年で30周年を迎える、福北交流の一環で北九州と福岡両地区を拠点とする経済人の交流と連携を通じて、北部九州から九州全域、日本、アジアを見据えた産業・経済の発展と活力ある社会づくりにつなげる会です。

福岡産業振興協議会のご厚意で、九州大学ビジネス・スクール(QBS)・北九州市立大学ビジネススクール(K2BS)も参加させていただいており、毎年、両校によるビジネスコンペにて日頃の勉強の成果を競っています。今回は「地域課題を解決するビジネスソリューション」をテーマに15期の竹内さん、新地さんが「福岡県大川市の家具産業振興のためのビジネスアイデア提案」をプレゼンし、見事勝利しました。審査員である元福岡県知事の麻生渡様からは各チームが焦点を当てていた、北九州市、大川市の現状などについてフィードバックを頂き、それぞれのビジネスプランについて理解を深めることができました。

また、その後の交流懇談会では福岡・北九州を代表する経済人と、QBS・K2BSの学生とで交流が行われ、最後にJR九州 石原進 相談役、九州連携機構の小早川明徳 会長、マカオ大学の古田茂美 教授より、これからの九州の発展に向けてのお話があり、盛況のうちに閉会を迎えました。

野村 拓文(15期生)

第2回 MBA成長戦略フォーラム

2018年3月11日に第2回MBA成長戦略フォーラムを執り行いました。本フォーラムは昨年より「QBSでの学びを如何に今後活かすか」をテーマに在校生や修了生の発表の場であり、今年も6名の在校生と2名の修了生より貴重な発表をして頂きました。当日は50名以上のご参加を得て、特に今年より入学される16期生からは多くの参加と積極的な質問、コメントを頂きました。様々なバックグラウンドと目的を持った仲間が2年間学びの時間を共有する九州大学ビジネス・スクールは本フォーラムの様なイベントを通じ、新たな価値観やネットワークが生まれます。フォーラム後は交流会を開催し良いコミュニケーションの場となりました。

西井 健雄(15期生)



【第一部】

- ◆ 地方ディーラー戦略 15期生 松本 秀樹
- ◆ 行動経済学を用いた高齢者における服薬アドヒアランス改善効果の検討 14期生 坪井 祐馬
- ◆ 固定電話事業における残存者利益の獲得 14期生 進藤 寛修
- ◆ 小学校をリノベで再生いいかねPaletteの挑戦 修了生 大井 忠賢

【第二部】

- ◆ 日本社会における外国人との共働共生 ～QBSでの学びを踏まえて～ 15期生 カandel・ナラヤン
- ◆ ソーシャル・キャピタルと情報行動 ―地方新聞の生き残りに向けた考察― 14期生 高田 盛宏
- ◆ 組織を自滅させる意思決定プロセス ―双曲型割引効用理論の適用による理論的説明― 14期生 安藤 良祐
- ◆ QBSでの学びとキャリア形成 修了生 杉本 将隆

